

# シングルレバー混合水栓柱 ペット用水栓柱 / 防水パン (別売品)

LF-922SHK  
A-5338

商品の機能が100%発揮されるよう本説明書の内容を十分ご理解のうえ正しく施工してください。  
なお施工完了後、この施工説明書を同梱の取扱説明書の袋に入れてお客さまにお渡しください。

## 施工の前に

### 安全上のご注意

#### お客さまへ

この説明書は「シングルレバー混合水栓柱」と、「シングルレバー混合水栓柱専用防水パン」の施工方法について説明しています。  
本製品の取付工事は、必ず水道工事店など専門の工事店に依頼してください。不明な点は工事店、当社支社、または当社お客さま相談センターへお問い合わせください。  
この説明書は、本製品の取扱説明書とともにいつでも見られるところに保管してください。

#### 施工店の方へ

施工に際しては、必ずこの施工説明書に従い正しく施工してください。  
この施工説明書に記載されていない方法で施工し、それが原因で故障が生じた場合は、商品の保証を致しかねます。十分ご注意ください。  
「保証書」(取扱説明書裏表紙)は、貴店名と取り付け日を忘れずに記入のうえ、必ずお客さまにお渡しください。  
施工段階での欠陥工事は、施工店に対して賠償責任が問われる場合があります。この点を十分にご認識いただき、お客さまが安全で快適にご使用できるようご協力ください。  
ここに記載している ⚠ 警告、⚠ 注意は状況により製品やお客様の設備について、重大な結果に結びつく可能性があります。これらはすべて安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。  
本製品の取付工事は、水道法、その他の法令、地方自治体の条例、規則など各種法規にしたがって行ってください。  
工事または取り扱いにあたって不明な点がございましたら、当社支社、または当社お客さま相談センターまでお問い合わせください。  
防水パン A-5338 は、ペット用水栓柱 LF-922SHK 専用の防水パンです。

### 警告

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。  
ケガや故障が生じる恐れがあります。

水道水の水質基準に適合した水以外には取付けないでください。

### 注意

この説明書に記載されている以外の設置条件の場合は、取付けをしないでください。  
水栓柱、防水パンの取付強度が保てない恐れがあります。必ず施工のやり直しを行ってください。

湯水を逆に配管しないでください。  
水を出そうとして、湯が出てヤケドをすることがあります。

お客さまに引き渡す前に凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。  
寒冷地仕様の水抜方法は、取扱説明書を参照ください。  
凍結破損で漏水し、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。

不凍帯までは給水・給湯の配管に保温材を巻く等、凍結による破損がないよう十分に保護してください。

防水パンは傷つきやすいので次の点に注意して施工してください。  
工具などの堅いものを防水パン上に落としたり、のせて引きずったりしないでください。  
防水パン上に乗らないでください。

### 本製品の使用条件

#### ガス給湯器（比例制御式：16号相当）と組み合わせる場合の給水圧力

最低必要圧力	ガス給湯器の最低作動圧力 + 0.06MPa
最高圧力	0.75MPa

- 測定条件は次のとおりです。
- レバーハンドルは全開
  - 給水温度 5℃、吐出温度 42℃（ガス給湯器との組み合わせ条件が最も悪い冬季を想定）
  - 給水圧力はガス給湯器直前における流動時の静水圧です。
  - ガス給湯器の設定温度は最高温です。

#### 貯湯式温水器と組み合わせる場合の給水圧力

最低必要圧力	0.07MPa
最高圧力	0.75MPa

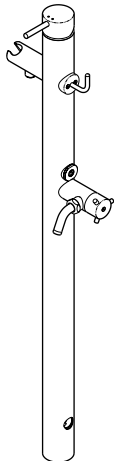
- 給水圧力と給湯圧力の差を小さくしてください。温度調節が容易になり、使いやすくなります。

#### その他の条件

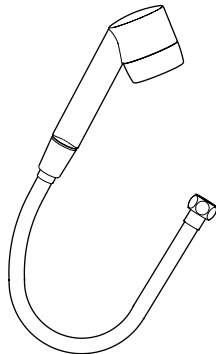
給湯に蒸気は使用できません。  
給水は上水道に接続してください。温泉水など異物を多く含む水は使用できません。  
給水配管が右側、給湯配管が左側になるようにしてください。  
給湯配管はできるだけ短くし、必ず保温材を巻いてください。  
給水圧力が 0.75MPa を超えるような高圧の場合は、市販の減圧弁で適正圧力(0.20MPa程度)に減圧してください。  
給湯配管が長い場合や高い位置に器具を取り付ける場合は、圧力損失を考慮してください。

### 部品の確認

#### 本体

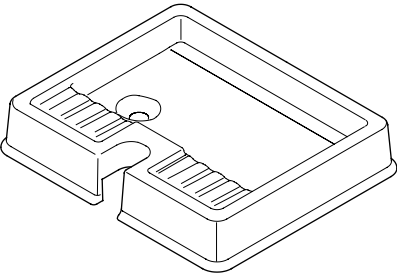


#### シャワーセット



#### 防水パン仕上げの場合（別売品）

##### 防水パン



##### 目皿セット（A-5422）



### 施工前の確認

#### 給水管、給湯管の確認

給水は上水道に接続してください。温泉水など異物を多く含む水は使用できません。  
給水・給湯管が指定の位置に取り出してあるか、また給水配管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確かめてください。  
逆配管では表示通りに湯水が出ません。  
取り付け後の保守点検ができるように、必ず給水・給湯管の配管側に専用の止水栓を取り付けてください。  
不凍帯までは給水・給湯の配管に保温材を巻く等、凍結による破損がないよう十分に保護してください。

#### 給水管、給湯管取出し位置の確認

右の図の位置に給水管と給湯管が取出してあるか確認してください。

#### 設置場所の確認

水栓柱は、必ず住宅の基礎面の上に設置します。水栓柱の設置地面に基礎があるか確認してください。  
基礎がない場合は、砂利石、PC板などで水平、強固にして設置してください。

#### 【別売品の防水パンを設置する場合】

##### 排水管のサイズ

防水パンの排水口は外径 40mm です。排水管は内径 50mm 以上を用意してください。

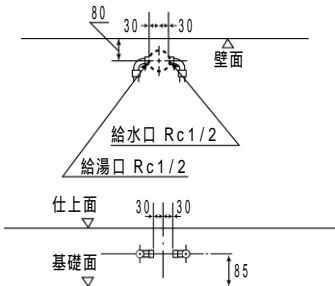
##### 設置場所

防水パンは、必ず安定した PC 板の上に設置してください。  
防水パン設置面には、給排水管の部位をのぞいた全面に PC 板が設置してあるか確認してください。  
排水管・PC 板は現場手配となります。

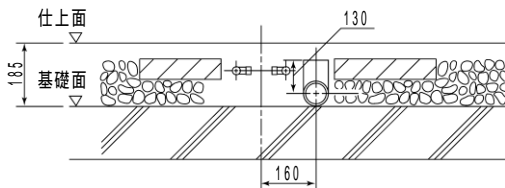
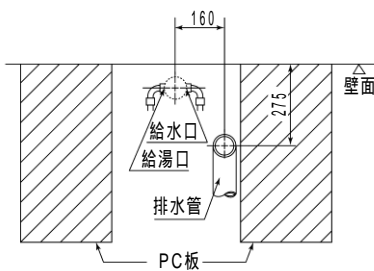
#### 【タイル仕上げをする場合】

##### 排水管取出し位置

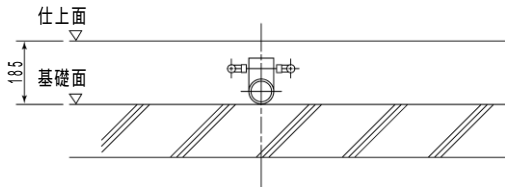
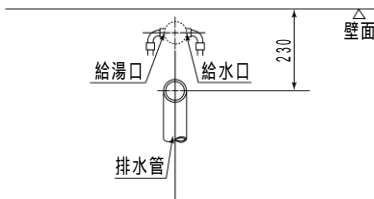
右の図の位置に排水管が取出してあるか確認してください。  
排水管・目皿は現場手配となります。  
防水パンに付属の目皿をご利用いただくことも可能です。別途、A-5422 でご注文ください。



#### 防水パン仕上げの場合



#### タイル仕上げの場合



### 問い合わせ先

株式会社 INAX

商品・施工方法についてのお問い合わせ

お客さま相談センター商品相談窓口

ナビダイヤル TEL 0570-017173

受付時間 平日 9:00 ~ 19:00  
土日・祝日 10:00 ~ 18:00  
(年末年始、夏期休暇は除く)

PHS・IP 電話などではナビダイヤルをご利用できません。  
TEL 0562-31-0793 をご利用ください。

# 施工方法

1

## 水栓柱の取り付け

### 水栓柱単体で取り付ける場合

開梱、取り付けの際には商品の表面にキズを付けないように十分注意してください。

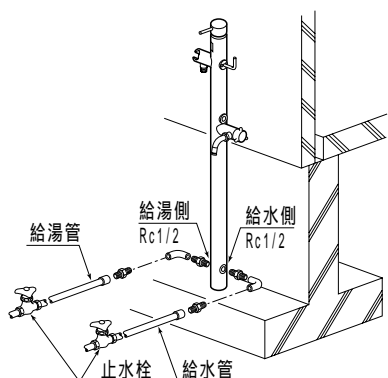
商品の表面には、直接工具を掛けないでください。

工具を掛ける場合には、必ず商品に布等をあてて保護してください。

#### 1. 水栓柱を所定の位置に立てかけ、水栓柱根本部の取出しと給水管と給湯管を接続する

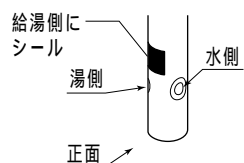
水栓柱側は Rc1/2 (メスネジ) 仕様  
取り付け後の保守点検ができるように、必ず給水・給湯側に専用の止水栓を取り付けてください。

配管が凍結で破損しないよう保温材を巻いてください。

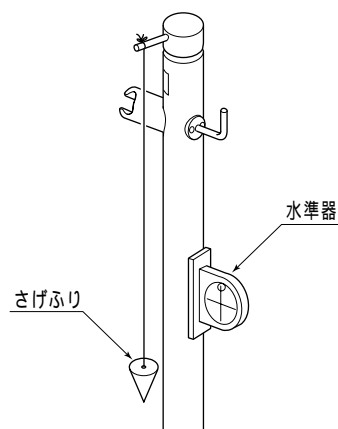


#### 注意

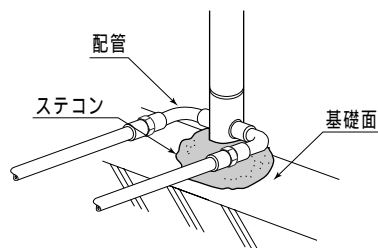
向かって右側の取出しは給水側、左側の取出しは給湯側です。



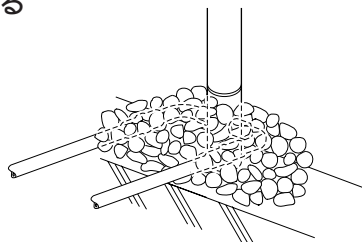
#### 2. 水栓柱の直立（鉛直）をさげふり、水準器などで確認する



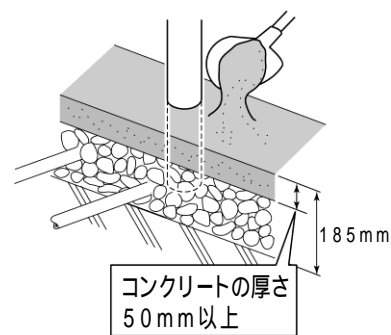
#### 3. 水栓柱の根元をコンクリート等で根巻きし、水栓柱が倒れないように固定する



#### 4. 砂利石または砂でまわりを埋める



#### 5. コンクリートを流して固める



コンクリートをしっかり打設しないと、転倒・破損・漏水の恐れがあります。

排水は別途現場でご配慮ください。

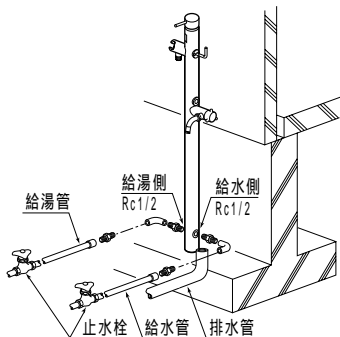
この後は、「②シャワーの取り付け」を行ってください。

### 防水パン仕上げの場合

#### 1. 水栓柱を所定の位置に立てかけ、水栓柱根本部の取出しと給水管と給湯管を接続する

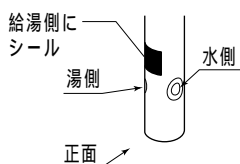
水栓柱側は Rc1/2 (メスネジ) 仕様  
取り付け後の保守点検ができるように、必ず給水・給湯側に専用の止水栓を取り付けてください。

配管が凍結で破損しないよう保温材を巻いてください。

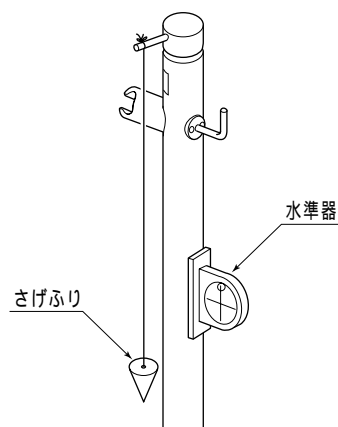


#### 注意

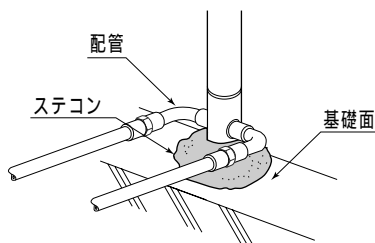
向かって右側の取出しは給水側、左側の取出しは給湯側です。



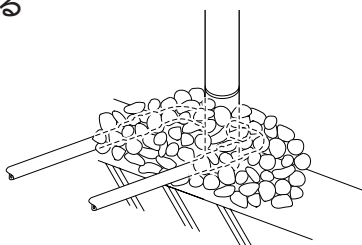
#### 2. 水栓柱の直立（鉛直）をさげふり、水準器などで確認する



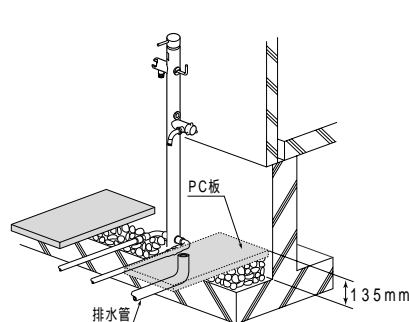
#### 3. 水栓柱の根元をコンクリート等で根巻きし、水栓柱が倒れないように固定する



#### 4. 砂利石または砂でまわりを埋める

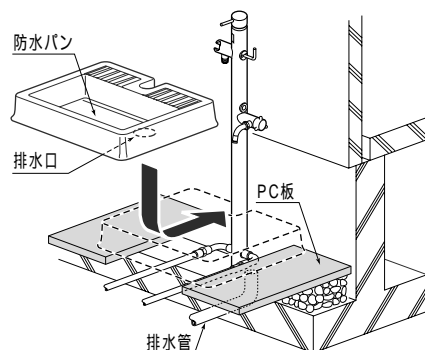


#### 5. 水栓柱と排水管の周囲の砂利石を掘り、PC板を設置する



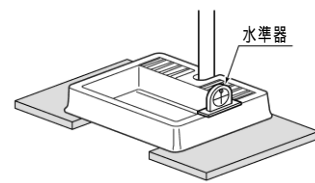
#### 6. 防水パンの凹部に水栓柱が納まるように、また排水管に防水パンの排水口が入り込むように設置する

排水管に排水口が納まらない場合は、排水管の取り出し位置を再調整してください。

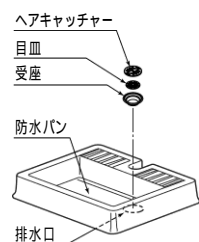


#### 7. 防水パンが、がたつかず安定しているか、また水平になっているか確認する

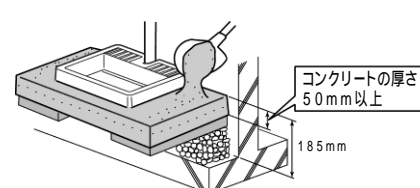
防水パンの立ち上がり部に水準器をのせて水平を確かめてください。



#### 8. 目皿セットを排水口に設置する



#### 9. コンクリートを流して固める



- お願い -  
施工後、防水パンは養生して後の工事などで傷つかないようにしてください。

この後は、「②シャワーの取り付け」を行ってください。

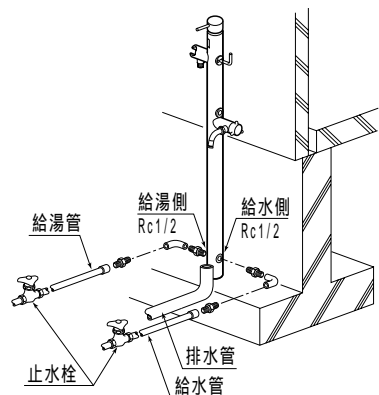


# 施工方法

## タイル仕上げの場合（タイル 300mm × 300mm、3枚 × 3枚の場合）

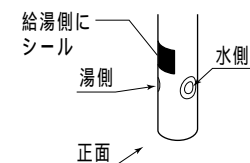
1. 水栓柱を所定の位置に立てかけ、水栓柱根本部の取出しと給水管と給湯管を接続する

水栓柱側は Rc1/2（メスネジ）仕様  
取り付け後の保守点検ができるように、必ず給水・給湯側に専用の止水栓を取り付けてください。  
配管が凍結で破損しないよう保温材を巻いてください。

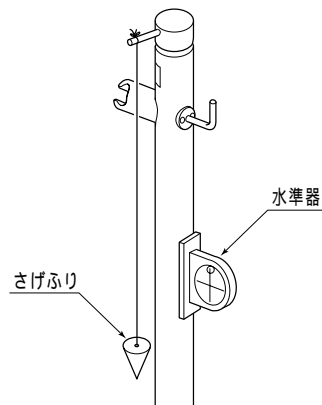


### 注意

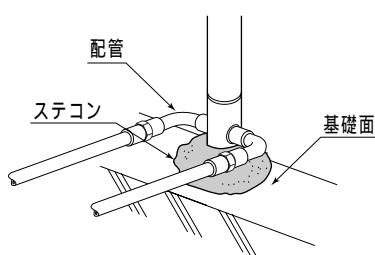
向かって右側の取出しは給水側、左側の取出しは給湯側です。



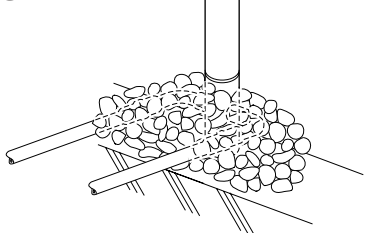
2. 水栓柱の直立（鉛直）をさげふり、水準器などで確認する



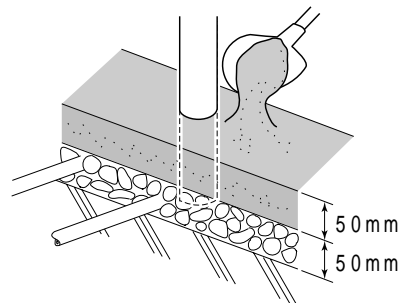
3. 水栓柱の根元をコンクリート等で根巻きし、水栓柱が倒れないように固定する



4. 砂利石または砂でまわりを埋める

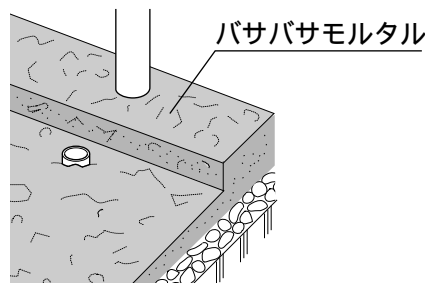


5. コンクリートを流して固める



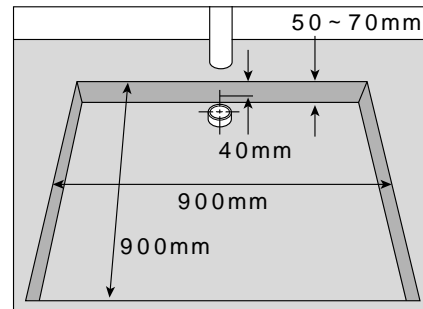
コンクリートをしっかり打設しないと、転倒・破損・漏水の恐れがあります。

6. タイル施工するためにバサバサモルタルで下地をつくる



7. 3方勾配を設ける部分の凹み（深さ50～70mm程度）を設けておく

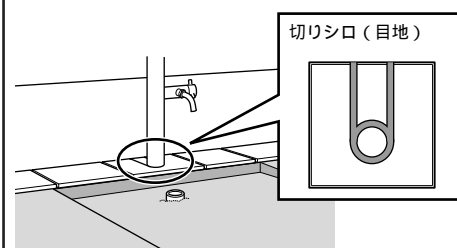
排水目皿の面と上面の高低差が40mmとなるように排水管を出しておきます。



### 注意

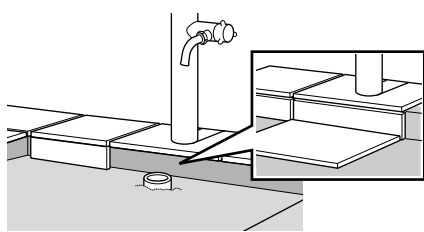
上段（凹みの奥）のタイル施工から始めると作業しやすくなります。

水栓柱の周りのタイルは下図のような切り物で納めると、美しい仕上がりになります。切り物、水栓柱周りは、目地を込めて仕上げます。



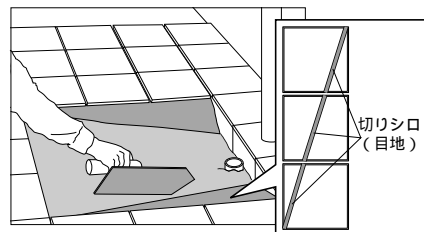
8. 凹みの中の奥の立ち上がりのタイル施工を行う

立ち上がりのタイルは、上面のタイルに飲み込ませます。



9. 凹みの中にバサバサモルタルを敷いて勾配を付ける

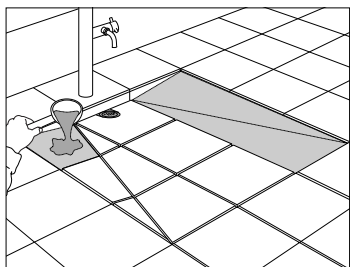
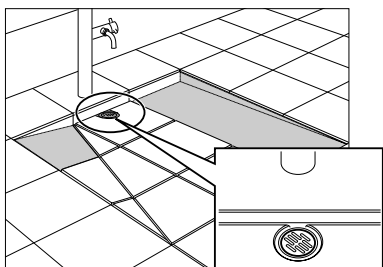
勾配を付けるための斜めの切り物は、目地幅と同じようにするため、対角ではなく若干の切りシロを設けます。  
タイルを仮置きし、目地が直線となるように調整してください。



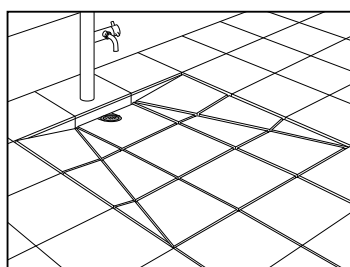
10. セメントペースト（ノロ）で勾配付けしたバサバサモルタルにタイルを張っていく

中央（柱の正面の2枚）から施行すると作業しやすくなります。

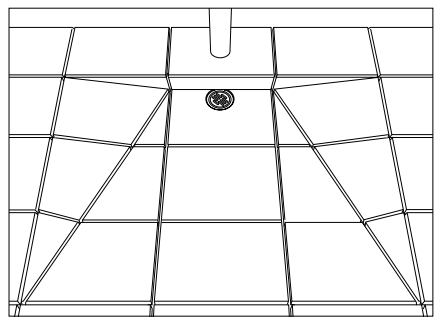
タイルは目皿より少し大きめにくり抜きます。目皿の周りとタイルの間は、目地を込めて仕上げます。



11. 目地を込めて完成させる



### 注意



目皿の周りは目地を取って仕上げるため、タイルは目皿より少し大きめにくり抜く。

勾配を付けるための斜めの切り物は、目地幅と同じになるようにするため、若干の切りシロを設ける。

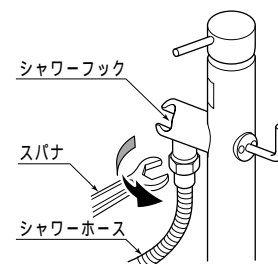
この後は、「②シャワーの取り付け」を行ってください。

## 2

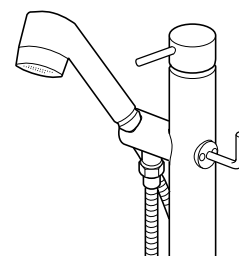
### シャワーの取り付け （すべての施行方法に共通）

1. シャワーを水栓柱のシャワーフックに接続し、工具でしっかりと固定する

工具を掛ける場合には、必ず商品に布等をあてて保護してください。



2. シャワーを水栓柱のシャワーフックにかけておく



# 確認と引き渡し

## 施行後の確認

1. 以下の点を確認する
- 水栓柱の確認

・水栓柱が強固に固定できていますか？
- 吐水の確認

・湯側、水側のハンドルを開けて、十分な給水、給湯ができますか？

・シャワー吐水と整流吐水がスムーズにできますか？

・水漏れはありませんか？

2. 以下の現象がないか確認する

現 象	考えられる原因	点検箇所	処 置
流量が少ない	配管途中に大きな抵抗がある		抵抗となっている障害物を取り除く
	流量調節栓が閉まっている	④	流量調節栓を開く
	ゴミが詰まっている	② ③ ⑤	シャワーの散水板・逆止弁・スピンドルを掃除する
水が止まらない	シートパッキンがゴミをかんでいる	①	ゴミを洗い流す
	シートパッキンに傷がある	①	部品を交換する
希望温度の湯水が出ない	圧力が足りない		圧力条件を確認する
	流量の調節ができていない	④	流量調節栓を開閉し調節する
	給湯器の設定温度が低い		設定温度を上げる
水栓柱ががたつく	コンクリートの施工が十分でない		施工方法を再度確認し施工をやり直す

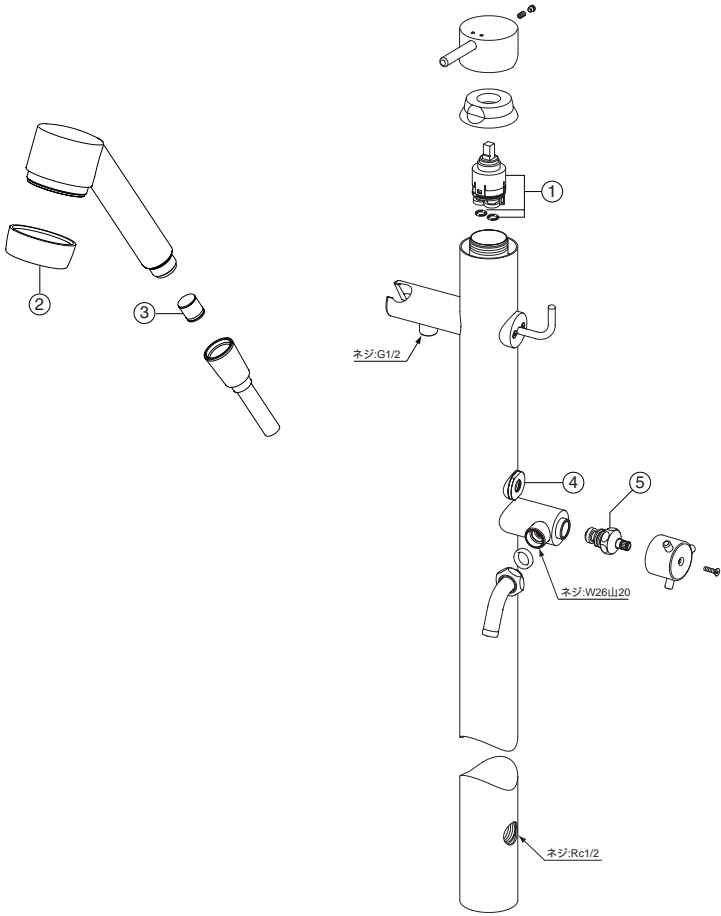
### 防水パンを取り付けた場合

現 象	考えられる原因	処 置
防水パンががたつく	水平に設置されていない	水平に設置し直す
水を流すと水溜りができる	排水されていない	施工方法を再度確認し施工をやり直す

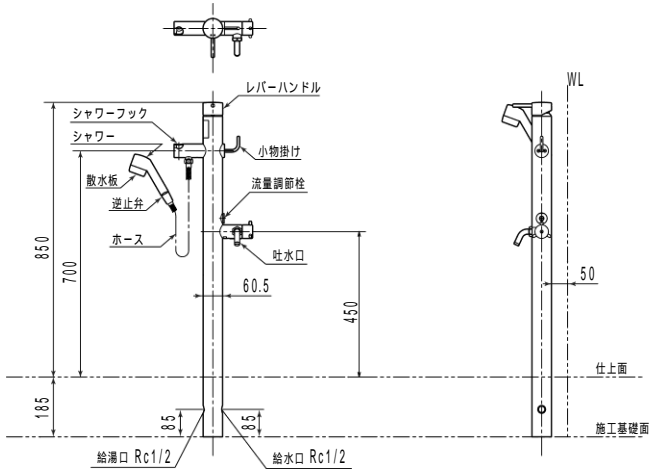
## 引き渡し

「保証書」(取扱説明書裏表紙)に、貴店名と取り付け引渡し日を記入のうえ、この施工説明書とともに必ずお客さまにお渡しください。

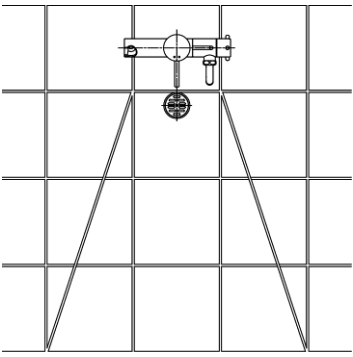
- お願い -  
施工後、防水パンは養生して後の工事などで傷つかないようにしてください。



## 施工完了図（水栓柱のみの場合）



## 施工完了図（タイル仕上げの場合）



## 施工完了図（防水パン仕上げの場合）

